

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 十日町市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
越後交通株	長岡～十日町線	<p>・運行回数の維持や競合路線との時刻調整により、利便性の確保に努めた。</p> <p>・利用促進のため、1日乗り放題券や小学生向け夏季休業期間割引を実施した。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【利用者数】 目標: 前年比100%を上回る 達成状況: 前年比96.7% (R6: 60,569人→R7: 58,557人) 未達成の主な理由: 人口減少や少子化による通勤・通学利用者の減</p> <p>B 【収支率】 目標: 前年比100%を上回る 達成状況: 前年比109.0% (R6: 36.7%→R7: 40.0%)</p> <p>【十日町市の負担額】 目標: 前年比100%を下回る 達成状況: 前年比87.6% (R6: 4,720千円→R7: 4,134千円)</p>	<p>・各種割引の拡充や見直しを検討し、利用促進を図る。</p> <p>・バス事業者と関係市町村等が連携し、運行計画の見直しを検討する。</p> <p>・経常費用削減・収支改善を図るため、ダイヤ数減による運行効率化を検討する。</p>
越後交通株	小千谷～十日町線	<p>・運行回数の維持や競合路線との時刻調整により、利便性の確保に努めた。</p> <p>・利用促進のため、1日乗り放題券や小学生向け夏季休業期間割引を実施した。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【利用者数】 目標: 前年比100%を上回る 達成状況: 前年比84.2% (R6: 44,714人→R7: 37,668人) 未達成の主な理由: 人口減少や少子化による通勤・通学利用者の減</p> <p>B 【収支率】 目標: 前年比100%を上回る 達成状況: 前年比95.0% (R6: 36.1%→R7: 34.3%) 未達成の主な理由: 人口減少や少子化による通勤・通学利用者の減</p> <p>【十日町市の負担額】 目標: 前年比100%を下回る 達成状況: 前年比88.5% (R6: 6,986千円→R7: 6,180千円)</p>	<p>・各種割引の拡充や見直しを検討し、利用促進を図る。</p> <p>・バス事業者と関係市町村等が連携し、運行計画の見直しを検討する。</p> <p>・経常費用削減・収支改善を図るため、ダイヤ数減による運行効率化を検討する。</p>

## 【選択肢】

- A: 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。  
 B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。  
 C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。

## 【選択肢】

- A: 事業が計画に位置づけられた目標を達成した(する見込み)  
 B: 事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)  
 C: 事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 十日町市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
南越後観光バス(株)	十日町～中里～津南線	・令和7年4月のダイヤ改正で 土日祝日の利用が少ない便を 運休にし、経費の削減を図っ た。	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	A 【利用者数】 目標: 前年比100%を上回る 達成状況: 前年比104.5% (R6: 71,347人→R7: 74,528人)  【収支率】 目標: 前年比100%を上回る 達成状況: 前年比103.3% (R6: 74.8%→R7: 77.3%)  【十日町市の負担額】 ※十日町市の負担なし	・利用者の動態を精査し、運行 時刻の見直しや必要に応じて 減便等を検討することで、利用 者数の維持及び収支の改善を 目指す。
南越後観光バス(株)	十日町～宮中～津南線	・令和7年4月のダイヤ改正で 土日祝日の利用が少ない便を 運休にし、経費の削減を図っ た。	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	A 【利用者数】 目標: 前年比100%を上回る 達成状況: 前年比109.0% (R6: 35,084人→R7: 38,246人)  【収支率】 目標: 前年比100%を上回る 達成状況: 前年比108.6% (R6: 94.3%→R7: 102.4%)  【十日町市の負担額】 ※十日町市の負担なし	・利用者の動態を精査し、運行 時刻の見直しや必要に応じて 減便等を検討することで、利用 者数の維持及び収支の改善を 目指す。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名：	十日町市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>十日町市は新潟県南部に位置し、東は南魚沼市、北は小千谷市、西は上越市、南は湯沢町、津南町などと接している。面積は590.39km<sup>2</sup>、人口は46,077人(R7.11末現在)である。</p> <p>当市の公共交通利用者は、人口減少や少子高齢化、モータリゼーションの進展などによって減少傾向にある。また、新型コロナウイルス感染症による行動変容に伴う利用者の減少や、事業者の経営状況の悪化に伴う路線廃止や減便、運転手の高齢化など、公共交通を取り巻く環境は厳しさを増している。</p> <p>このような中、自動車を運転しない高齢者や高校生などにとって、地域公共交通は重要な移動手段であり、今後も確保していかなければならない。また、高齢化の進行や運転免許証の返納など、今後はさらに公共交通サービスの必要性が高まるものと考えられる。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持事業により、広域交通(十日町市外との広域的な移動)や地域間交通(十日町市中心部と中山間地域の移動)の役割を担う地域間幹線系統を確保・維持し、地域住民の交通手段の存続を図る必要がある。</p>

事業者名	越後交通株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R7年度)

協議会等名	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R6年度比 収入増減額	対R6年度比 費用増減額	R6年度 収支率	R7年度 収支率
					計画	取組実績					
十日町市地域公共交通活性化協議会	長岡～十日町	長岡駅前	小千谷 十日町病院	十日町車庫前	【取組内容】 ⑤競合路線との時刻調整 ⑪1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による輸送人員の拡大  【効果目標】 R5年度収支率101%の増加 【実施主体:越後交通】	【取組効果】 対R5年度比収支率92.16%  【取組実績】 R7年4月に競合路線との時刻調整を行い利便性の向上に努めた。		▲ 172,478	▲ 9,079,146	36.7%	40.0%
十日町市地域公共交通活性化協議会	小千谷～十日町	小千谷車庫前	千手	十日町車庫前	【取組内容】 ⑤競合路線との時刻調整 ⑪1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による輸送人員の拡大  【効果目標】 R5年度収支率101%の増加 【実施主体:越後交通】	【取組効果】 対R5年度比収支率101.86%  【取組実績】 R7年4月に競合路線との時刻調整を行い利便性の向上に努めた。		▲ 1,253,710	▲ 542,815	36.1%	34.3%

事業者名	南越後観光バス株式会社
------	-------------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R7年度)

協議会等名	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R6年度比 収入増減額	対R6年度比 費用増減額	R6年度 収支率	R7年度 収支率
					計画	取組実績					
十日町市地域公共交通 活性化協議会	十日町～ 中里～津 南	十日 町車庫 前	中里	津南 営業所 前	【取組内容及び実施時期】 令和7年2月までにダイヤ改正検討 (令和7年4月実施予定)  【実施主体】 南越後観光バス(株)  【効果目標】 運送費用の削減、関係路線と連携し輸送人員増加に努め、 1%以上の収支改善を目標とする。	【取組実績】 令和7年4月よりダイヤ改正を実施し、土曜・日曜・祝日の 運行回数を0.5回減回した。  【取組効果】 通学利用が好調で対前年度3,181人利用者数が増加し、利 用の少ない土曜・日曜・祝日の運行回数を減回したことで、 収支率が2.53pt改善した。		2,941,824	2,443,219	74.84%	77.37%
十日町市地域公共交通 活性化協議会	十日町～ 宮中～津 南	十日 町車庫 前	宮中	津南 営業所 前	【取組内容及び実施時期】 令和7年2月までにダイヤ改正検討 (令和7年4月実施予定)  【実施主体】 南越後観光バス(株)  【効果目標】 運送費用の削減、関係路線と連携し輸送人員増加に努め、 1%以上の収支改善を目標とする。	【取組実績】 令和7年4月よりダイヤ改正を実施し、土曜・日曜・祝日の 運行回数を0.5回減回した。  【取組効果】 通学利用が好調で対前年度3,162人利用者数が増加し、利 用の少ない土曜・日曜・祝日の運行回数を減回したことで、 収支率が8.08pt改善した。		2,271,522	863,054	94.34%	102.42%